

国語科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校

教諭 沖田 梨絵

- 1 日時 平成30年6月13日(水) 第5校時
- 2 学年 第3学年2組(男子14名 女子19名 33名)
- 3 場所 海田西中学校 第3学年2組
- 4 単元名 目的や相手に応じて説明する ～『ふれあい体験』の遊びを説明しよう～
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、ふれあい体験学習で考えた「遊び」を幼児に説明する際を想定して話していく。中学校学習指導要領国語科第三学年の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」の指導事項ウ「場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。」の内容を受けて設定した。同じことでも、相手や目的が違うことによつて、どのようなことに気をつけて説明したら良いか考えていく。相手意識と目的意識を持ちながら、言葉や身振り手振り、表情や効果的な資料など、分かりやすく伝えるための工夫を加えて話すことができる力を養う。

(2) 生徒観

授業対象の3年生は、平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の五2要旨の把握の問題(タイプⅡ)では、平均通過率が49.2Pと低い結果であった。授業や補習等で文章の要旨を捉えることはできているが、条件を満たして答えることができていない生徒が多くいた。また、主述の一致した文や、読み手を意識した文章を書くことなどに課題がある。

一方、自分の調べたことや体験したことを発表したり、新聞にまとめたりすることは1学年から行っている。2年時にはビブリオバトルで本の紹介を行ったり、3年では帰りのSHRに1分間スピーチを行ったりする際に、表現することについては苦手意識なく、工夫を加えて主体的、意欲的に取り組むことができる。

(3) 指導観

指導にあたっては、ふれあい体験学習で考えている「遊び」を、幼児に伝える時と文化祭で報告する時に、どのように説明をしたら分かりやすく伝わるかをカルタ遊びを例にして課題の設定を行う。情報の収集の段階では、家庭科で学習している「幼児の生活や発達」の内容、幼児向けの番組や、カルタ遊びのルールや効果、和語・漢語・外来語や敬語など言葉に関する資料を参考にして、2分以内の原稿を書く。整理・分析の段階では、相手・目的・場面に応じた内容や話し方になっているか、グループで交流し、一つの説明にまとめて、話す練習を行う。まとめ・創造・表現の段階では、各グループの発表を聞き合うことで、目的や相手に応じて話すことの工夫点や課題点に気づかせる。振り返りの段階では、わかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけたら良いかまとめていく。

聞き手や話す目的を意識し、複数の場面を想定した説明をすることや、お互いの説明を聞き合うことを通して、場に応じた分かりやすい話し方の工夫を身につけ、今後の自分の表現に生かせるようにする。

6 単元の目標および内容

- ふれあい体験の取組について、伝えたいことを分かりやすく話そうとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。
【[知識及び技能] (1) エ】
- 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
【[思考力, 判断力, 表現力等] A話すこと・聞くこと ウ】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力
・材料をもとに, 伝えたいことを分かりやすく話そうとしている。	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し, 適切に使っている。(1) エ	・場の状況に応じて言葉を選ぶなど, 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 (A話すこと・聞くこと ウ)

8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は, ①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信 の5つである。そのうち, 本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	伝えたいことをわかりやすい表現で伝えようとしている。
課題発見・解決力	相手意識や目的意識をもって, 既習事項を活用して工夫している。

9 単元の学習指導計画 (全4時間)

時	学習内容	評価			
		関	知	思	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	課題の設定 ○ふれあい体験学習 (保育実習) で遊びの説明をすることと, 文化祭で報告をするという学習課題について確認する。 情報収集 ○資料を参考にして, 2分以内の説明原稿を作る。	○	○		・学習活動の見通しをもち, 積極的に説明原稿を書いている。(行動観察・ワークシート) ★伝えたいことをわかりやすい表現で伝えようとしている。(ワークシート)

2 本 時	<u>整理分析</u> ○グループで意見交流し，説明内容や話し方を推敲する。		○	◎	・相手や，目的，場に応じた内容や話し方をしている。(行動観察・ワークシート) ★相手意識や目的意識をもって，既習事項を活用して工夫している。
3	<u>まとめ・創造・表現</u> ○各グループの説明を聞いて，工夫点・課題点を交流する。		○	◎	・相手・目的・場に応じた話し方ができているか，グループの発表を評価する。(発言・ワークシート)
4	<u>振り返り</u> ○わかりやすく伝えるためには，どのようなことに気をつけたら良いかまとめる。		○		・わかりやすく伝えるための工夫点についてまとめている。(ワークシート) ・ふれあい体験で自分のグループの遊びの説明にいかす。(ワークシート) ★相手意識や目的意識をもって，既習事項を活用して工夫している。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★「深い学び」を実現した児童・生徒の具体</p> <p>「相手や目的に応じて，言葉や表情，身振り手振り，資料の工夫をすることで，相手にわかりやすく伝えることができることがわかった。おなじことを伝えるのでも，言葉の選び方や順序などによっても，印象が変わる。7月に行われる『ふれあい体験学習』でも，自分達の遊びの説明がうまく伝わるように考えたい。」</p> </div>					

1.1 本時の学習

(1) 本時の目標

相手・目的・場を意識して、話す内容や話し方を工夫することができる。

(2) 本時の評価規準

相手や、目的、場に応じた内容や話し方をしている。

(3) 準備物

ワークシート、掲示物、タイマー

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 本時の目標を確認する。 目 標 _____ 相手・目的・場を意識して、話す内容や話し方を工夫することができる。		
	2 幼児向けの番組等を見て、話し方の工夫を見つける。	◇内容の他に、表情、身振り手振り、言葉遣いなどの工夫に気づかせる。 ◇全体でポイントを確認し、見通しをもつ。	
<p>工夫のポイント</p> <p>【話す内容】 相手意識：幼児 目的意識：ルールを守って楽しく安全に遊ばせたい 場 面：ふれあい体験当日</p> <p>【話し方】 ・表情、間、身振り手振り、資料の有無、敬語、和語・漢語・外来語など</p>			
<p>★めざす子どもの発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児に説明する時には、やさしい言葉と表情が必要だね。 ・ 身振り手振りを加えて、おおげさにやってみせるといいね。 ・ はやいと聞き取れない子もいるから、ゆっくり話すといいね。 ・ 説明だけではわからないかもしれないから、やってみせるといいね。 			

展 開	3 グループで原稿をもとに内容を推敲する。	◇机間指導をしながら、工夫のポイントをおさえているか確認させる。 ◆工夫のポイントを具体的に示し、推敲させる。	○相手や、目的、場に応じた内容や話し方をしている。(行動観察・ワークシート)
<p>★めざす子どもの姿</p> <p><原稿例></p> <p>(カルタを見せながら) これ、何だか知ってるかな? そう、カルタだね。これから、お姉さんが読んだものを、床の上にあるカルタの中から見つけてね。カルタに描かれている絵や、ひらがながヒントになるよ。見つけたら、「はい!」と大きな声で言ってカルタをおさえてね。速くおさえた人がカルタをもらえるよ。間違ったカルタを触ったら一回休みだよ。もし、お友達と同時にになったら、じゃんけんで決めようね。最後のカルタがなくなるまでやるよ。最後にたくさんカルタをとった人の勝ちだからね。</p>			
	4 グループで話し方を練習する。	◇工夫のポイントや、班独自の工夫なども加えられないか考えさせる。 ◇一部の班に発表させて、工夫点や課題点を考えさせる	★相手意識や目的意識をもって、既習事項を活用して工夫している。(行動観察・ワークシート)
ま と め	5 本時をふり返り、ワークシートに記入する。	◇ふり返りの感想を発表させ、目標の達成を確認させる。	

12 板書計画

	工夫点		話し方	場 ・ ・ ・ ふれあい体験(保育園)	目的 ・ ・ ルールを守らせる 安全に遊ぶ 「かるた遊び」	話す内容 相手 ・ ・ 幼児	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> </tr> </table> <p>相手・目的・場を意識して、話す内容や話し方を工夫することができる。</p>	目標
目標								